

「瀬戸内海における環境の変遷と気候変動による環境影響」

瀬戸内海は、12 個の湾灘からなる日本で最大の内湾であり、風光明媚で豊かな自然環境を有している。しかし、1960 年代から 1970 年代にかけて瀬戸内海周辺には産業や人口が集中し、瀬戸内海の水質が急速に悪化した。このため、瀬戸内海の環境保全を目的として「瀬戸内海環境保全特別措置法」が 1973 年に制定された。また 1978 年以降は水質総量規制が導入され、指定項目として COD、窒素含有量及びリン含有量の総合的な負荷削減対策が講じられてきた。瀬戸内海全体の水質改善は進んだものの、2020 年代現在において、湾奥部では依然として夏季の貧酸素化が深刻な状況にあるとともに、一部海域では低栄養化による生産力の低下が新たな課題となっている。一方、近年は異常気象や海水温上昇など温暖化による気候変動が瀬戸内海の環境にも影響を及ぼしている。さらに、人口減少社会により瀬戸内海周辺の社会構造は大きく変化しており、瀬戸内海の環境は大きな転換期を迎えている。

本セミナーでは、瀬戸内海における環境を対象に、高度成長期以降の環境の変遷と、将来想定されている気候変動による瀬戸内海の環境変動について話題を提供していただき、その後、持続可能な内湾環境の将来像について参加者間で意見交換を行います。

興味・関心をお持ちの方は、ぜひ、ご参加くださいますようお願いいたします。

- テーマ 「瀬戸内海における環境の変遷と気候変動による環境影響」
- 主催 一般社団法人 生態系工学会 (RACES)
- 日時 2021 年 9 月 26 日 (日) 14:00～17:00
- 場所 Zoom による遠隔開催
※参加登録頂いた方に後日、Zoom の URL をご案内します。
- 申込 生態系工学会ホームページ (<http://races.jp/>) より
登録フォームにてお申し込みください
- お問い合わせ先 生態系工学会 事務局 e-mail: office@races.jp
- プログラム
 - 14:00～14:05 開会挨拶 及び 趣旨説明
 - 14:05～14:40 話題提供①
「瀬戸内海総合水質調査による瀬戸内海の環境の変遷」
遠藤 徹 (RACES 会員：大阪市立大学大学院工学研究科)
 - 14:40～14:50 10 分休憩
 - 14:50～15:50 話題提供②
「瀬戸内海の水環境への気候変動影響予測」
東 博紀 (国立環境研究所地域環境保全領域海域環境研究室)
 - 16:00～16:10 10 分休憩
 - 16:10～16:55 参加者間での意見交換